

5月28日（土）1・2限目「中国の歳時飲食文化」

担当教員：国際人文学部 国際交流学科

李穎清 准教授

馴染みのある「春分」や「冬至」など二十四節気の説明から始まりました。中国では歌に合わせて覚えるそうです。

歳時に合わせた料理として身近な「餃子」が紹介されました。日本では主に焼き餃子をおかずとして食べますが、中国では水餃子を主食として食べるそうです。そのため、「焼き餃子・ラーメン・炒飯といった、中国人にとって主食ばかりの定食があることにはすごく驚いた」といった食文化の違いも教えていただきました。

中国の文化が実際にどういったものなのか、画像や映像も交えながら学ぶことで、より深く知ることができたのではないのでしょうか。

